

令和元年度 第1回越前おおの観光推進委員会会議録

日時 令和元年7月31日(水)午後2時～4時20分
場所 大野市役所 2階 大会議室
出席者 (公社)福井県観光連盟 長野隆観光ネットワーク推進事業部長
大野商工会議所 田中伸恵総務課長
大野市商店街振興組合連合会 嶋田滋理事長
(一社)大野市観光協会 新井俊成会長 【委員長】
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合大野支部 宮内治彦支部長
観光ボランティアガイド大野 田中真次副会長 【副委員長】
大野市 朝日俊雄産経建設部長
事務局 商工観光振興課 上藤正純課長、中島綾子室長、廣作力企画主査

進行

上藤課長

委員長あいさつ

本委員会では観光戦略ビジョンの進捗を管理する。新しい道の駅ができ、中部縦貫自動車道や北陸新幹線ができることで、観光のあり方も変わってくる。それを考えるとこの委員会の任務は大きい。みなさんの知恵を拝借させていただきたいのでよろしく願います。

副委員長の選任

事務局推薦案で委員が承認。

副委員長に田中委員を選任。

協議事項

説明 上藤課長、中島室長

(1) 平成30年大野市の観光入込客数について

●嶋田委員

宿泊客数は、観光客かビジネス客か。

●事務局

観光客、ビジネス客が混ざっている数字である。

●新井委員長

九頭竜湖周辺には大変多くの観光客が訪れている。恐らく各施設からの報告数字以上と

思ったほうが良い。

●事務局

昨年度、観光協会に紅葉めぐりバスツアーを実施していただいた。今後も、関係機関と協力して、九頭竜湖周辺を訪れたいと考えている観光客にお金を使っていただく方法を考えていきたい。

●新井委員長

夢のかけ橋のあたりには駐車スペースがない。紅葉シーズン中の確認をしたほうが良い。

(2) 平成30年度、令和元年度の越前おおの観光戦略ビジョンの取り組みについて

●嶋田委員

天空の城登山道は、雨が降るとぬかるむ。亀山西側のぼり口のようにジグザグの道があると良い。

●宮内委員

すこを食べている地元の人間にとっては、すこサイダーの価格は高いと感じる。しかし、都会の人は高くても味をみて買うことを判断する。値段は難しいが、観光客を第一に考えるとよい。

ここ数年朝市の出店が少ない。4軒しか出ていない日もあるそうだ。朝市の組合員に聞くと成り手がいないと言う。朝市を育てる会があれば我々も参加できたらと思う。

事業者が知恵を出さないといけない。特に七間通り、五番通りの事業者や市民が大きな役割を持つ。

●嶋田委員

七間朝市に比べて、六間通りのねんりんの里のほうが安く、市民が買う。手数料さえ払えば、自ら売る必要がないため、六間通りに野菜が集まる。七間通りには市民が買いに行かない。行政だけの問題ではなく出店者の問題である。

●新井委員長

市として朝市を続ける気はあるのか。三大朝市物産まつりを開催を支援しても、活性化につながるものではない。このままでは朝市はなくなる。

●朝日委員

出店者が少ないことは実感している。組合長が代わり、話し合いの場を持つようにした。組合員は観光化してほしくない、自分たちのやり方でやらして欲しいと考えている。行政が継承を言うと押し付けになってしまう。基本的には市民自らが頑張っていきたいというときに行政として支援を考えたい。一番の原因は小規模農家が減っていること。昔と比べて高齢者で農業をする人が減っている。

市では、朝市のビニール袋やパラソル、警察への道路使用許可などで支援をしている。

●嶋田委員

朝市は伝統的なものなので、六間でなく七間で残してほしい。

●新井委員長

HOROSSA!には、夏休み、秋の行楽シーズンにどのように誘客する計画か。

●事務局

ツアー誘致や教育旅行などで誘客を図っていききたい。イベントは単発で効果が終わってしまうので今年度は実施しない。5月は10連休もあったことから、4,5,6月の入り込み客数は、昨年のお2割増となっている。

●新井委員長

市民に対しても大野の化石をアピールしたほうが良い。越美北線できて、九頭竜湖駅からバスでホロツサに行くようにできると良い。

●朝日委員

越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会でも考えてみる。

(3) 平成30年度における商談会参加状況及び旅行会社等への営業について

●嶋田委員

出向宣伝で特産品を売るとき、平成大野屋、昇竜、越前おおの農林楽舎で同じものを売っていると無駄ではないか。

●朝日委員

一昨年、出向宣伝を整理し、一方の会社で出店する場合は、一方の会社は出ないこととした。イベントへの出向宣伝もどちらかに補助するようにしている。

●新井委員長

クラブツーリズムは、観光ボランティアガイド派遣を依頼していても、ツアー中止や時間変更の連絡をしてこない。ルールができていない会社がある。

●長野委員

会社の風土や考え方がある。クラブツーリズムへの苦情は他地域からも聞いている。クラブツーリズムに対して注意喚起をし、改善すると回答を得ている地域もある。クラブツーリズムのどこのエリアの担当か教えてもらえれば、話す機会があるときに改善をお願いすることはできる。

(3) その他

●田中委員

2つ言いたい。1つ目は、年中、結楽座前の駐車場をバス専用駐車場にして欲しい。できないのであれば、まちなか交流センターのトイレを観光客に開放してほしい。2つ目は、越前大野城の3階の埋蔵文化財の展示を7代藩主土井利忠公の功績を示す展示にして欲しい。3階の一角だけでも良い。

●事務局

結ステーション駐車場については、バスが転回できるスペース小さく、バス駐車可能台

数が少なくなることで、越前大野城入館者数から団体バスの観光客より自家用車等での個人観光客が大幅に多いことが理由で現在の駐車場の位置になっている。大野市観光協会総会の場で申し上げたとおりである。

●嶋田委員

審議するボリュームが多い。重点的なことを話したほうが良いのではないかと。

●新井委員長

評価と課題、何ができて何が進まなかったのかが分かりたい。

●朝日委員

越前おおの観光戦略ビジョンは5年に1回改訂する。その年は3回ほどの会議が必要になる。

次回会議からは、事前に資料を配布する。資料説明時間は少なくし、意見をもらい、施策の参考としていきたい。

田中副委員長あいさつ

長時間、審議の協力に感謝する。